

当社は2021年5月に「UACJ VISION 2030」を公表し、その中で「2030年度におけるサプライチェーン全体でのCO₂排出量を2019年度比22%削減（BAU比 ※1）」することをKPIとして設定しています。

今回の計画では、製造所のアルミニウム用溶解炉に係る設備をエネルギー効率の優れた設備に更新することで、製品の製造時に排出されるCO₂を削減し、炭素生産性の向上を図ります。

※1 BAU(Business as usual)：何も対策を講じずに現状（生産量、品質構成）を維持した状態

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2022年3月～2024年3月

2. 生産性向上目標

当社全体の炭素生産性を24.5%向上することを目標とします。

3. 前向きな取組の内容

名古屋製造所・福井製造所のアルミニウム用溶解炉のバーナーをリジエバーナーに更新するとともに、福井製造所のアルミニウム用溶解炉の使用燃料をLNG燃料に転換する設備を導入します。その他、製造所内の天井照明のLED化、省エネ性能に優れた空調設備の導入により、稼働当たりのCO₂排出量を低減し、炭素生産性の向上を図ります。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

<名古屋製造所の外観>



<福井製造所の外観>

